

## 製品特性格別注意事項

### 外装目隠しルーバー・庇共通注意事項

- 仕様・取り扱い等は予告なく変更する場合がございます。
- ご利用に際しては、貴ご設計部位・用途における各種関係法令に遵守していることをご確認のうえ採用をご検討ください。
- 標準色以外の対応についてはお問い合わせください。
- 記載の対応カラーは印刷再現色のため実際の色とは異なります。
- 製品上面の積雪・先端部の雪庇を放置しますと、製品が変形・破損する場合があります。また、構造物にも負荷がかかりますので定期的に雪降ろしをすることを勧めます。
- 表面処理後に切断および加工を行いますので小口は皮膜処理が施されません。
- アルミ押出型材の表面処理のうちとくにシルバー・二次電解着色は、同じ色調でも見る角度により微妙に色合いに差が出る場合があります。これは一定の管理条件下で製作していてもアルマイトの皮膜及び塗装膜により光の屈折具合にわずかな差が生じることで微妙な色合いの違いに見えるからです。また、アルミの素地そのものの色の違いの影響を受け多少の色ムラが発生することもあります。これは電解着色の特性ですのでご了承ください。
- 塩害地域および感潮区域の設置環境では、付着した塩分などを除去するために1年に1回以上のメンテナンスおよび清掃を行ってください。塩分や黄砂などの汚れをそのままにしておきますと、腐食の発生原因となります。(P.426参照)

### Damiera®

- ディコルーフは左右勝手混在で設置されます。
- 表面処理後の切断および加工を行ないますので小口は皮膜処理が施されません。
- コーナー/エンド 各リーフの製品幅は、最小60/最大200mmとなります。
- 縦方向のみのご対応となります。

### 外装目隠しルーバー共通注意事項

- 安全性に配慮し、全てのルーバーは自社基準により強度検討のうえご提案いたします。
- 安全性に配慮しすべてのルーバー部材は1本(枚)あたり、固定箇所3点以上で支持することを推奨いたしております。
- 風騒音に配慮した商品は、「blinkers 風騒音配慮型」の2形状となります。(風騒音の発生する要因については明確な判定基準がなく、物件ごとの立地状況・納まり形状・ルーバーピッチ・胴縁ピッチなどさまざまな要因から複雑なメカニズムで起こると考えられています。)設置状況により特に風音を懸念される場合、「blinkers 風騒音配慮型」をご推奨いたしております。
- 切断面など加工した部分は鋭利な状態になります。用途、取り扱いに十分ご注意ください。
- 下地胴縁への下穴加工はM6ボルトタイプの場合は8.0φ以下、M8ボルトの場合は9.0φ以下として下穴のバリはきれいに除去してください。
- パネル取り付け時の板ナット(ABN)の推奨乗付トルクは10(N・m)程度となります。
- 胴縁材に溝形鋼などを使用しナット締結面に傾斜がつく場合、必ずテーパー座金を利用してください。ナットゆるみの原因となり大変危険です。
- 外装ルーバー用の下地胴縁の仕様として「ルーバー用アルミ胴縁」を推奨仕様と致します。溶融亜鉛鋼板(ZAM鋼板など)の高耐食処理鋼板に切断や穴あけなどの加工を施した場合小口が素地となります。外部に露出するルーバー用胴縁下地材としてそのまま使用すると小口に水分が滞留しやすい構造のため、環境や条件によりその素地部に赤錆が発生する場合があります。
- スチール材を下地胴縁として使用する場合は「後めっき処理」を行うか、又は素地部に「常温亜鉛めっき塗料」(ローバルなど)で補修すると赤錆を一定程度抑えることができます。しかし意匠を損なう恐れがありますのでご注意ください。

### OTO PROOF

- 本体パネルの焼付塗装は特注対応となりますが、パンチングはシルバー・アルマイト色のみとなります。
- 記載されている音響透過損失値と通気性能は実験による測定値です。実際の使用環境による測定値ではありません。
- 記載されている音響透過損失値と通気性能は裏面から表面方向の値です。
- 横断り仕様における断面下逆使いはできません。
- ルーバーの縦貼りおよび軒天、屋根面への使用は、吸音材の仕様変更により対応いたします。
- オトブルーフは、設計風圧力3,000(N/m<sup>2</sup>)以下でご使用ください。

### 庇共通注意事項

- 取付ボルト類は下地の条件に合ったものを現場にてご用意ください。
- アルミ押出型材を組み合わせた製品構成ですので、多少の色ムラが発生することがあります。電解着色の特性ですのでご了承ください。
- 指定箇所(固定ボルト部、製品取り付け部など)への防水シール(別途)は確実に行ってください。雨漏りの原因となります。
- 取付面の不陸調整、製品取り付け時のレベル出しは確実に行って下さい。製品が仕様通りに取り付かない原因となります。

#### 免責事項

- ※下記において、庇の落下・事故など一切の責任は負いかねます。
- 製品を耐風圧強度、許容積雪量の範囲を超える状況で使用した場合。
- 落雪が予想される場所に庇を設置し、落雪により製品が破損した場合。
- 庇を仮付けのまま放置し、製品が落下した場合。
- 取付面・取付下地の強度不足により、庇の強度低下・落下・躯体が破損した場合。
- 多振動が予想される場所に庇を取り付け、ネジロックなどの固定部の緩み防止措置を行わず、製品が落下した場合。
- 庇の上に乗る・物を置く・仕様以外の改造など、その他庇以外の目的・用途で製品を使用した場合。

### blinkers

- パネルタイプによりR曲げ加工をできる限り美しいR加工でご対応いたしておりますが、複雑なパネル形状や小さい曲げ半径(R)加工ほど加工は難しく、時に表面に若干のゆがみが現れる場合がございます。何卒ご了承ください。
- 斜め形状のパネルは、ルーバー裏面に光の屈折反射をルーバー表側に起こすことで、裏面胴縁や設置物の陰影をルーバー表面に映し出すことがあります。

## blinkers FS-series

- 色柄ラインアップについては7柄限定としており、特注柄対応はいたしていません。
- 小口フタは難燃性樹脂(ASA樹脂)キャップを各タイプ3色ご用意しています。
- 施工時は、ルーバー固定部材をあらかじめルーバー端部からスライド挿入し、下地胴縁に合わせて固定してください。

## cortec

- 表面樹脂は可燃性です。用途および周辺での火気取り扱いに十分ご注意ください。
- 腐食性ガスや海水・砂塵にさらされるなどの特に過酷な使用状況では短期間で樹脂が劣化することがあります。設置場所や環境を十分ご調査のうえ、使用決定をお願いいたします。
- 樹脂の特注色対応はいたしていません。

## Earth wood kaos

- 木粉入り樹脂製品のため、中空部に入った雨水等により褐色の色水が出る場合があります。
- 木の成分と金属(鉄・銅)が反応して黒ずむことがありますので、金属類を直接ルーバー面におかないでください。また施工後に金属切粉が残らないようにしてください。
- 紫外線による退色は天然木ほどの変化はありませんが、経年変化により多少の退色がみられる場合があります。
- 施工場所の外気温差・湿度の影響を受け、伸縮や膨張変形する場合があります。
- アースウッドカオスには必ず純正アルミ補強材を挿入してください。
- 不燃製品ではありません。燃焼ガス成分は木材とほぼ同じです。

## Terrade

- 製品は加工後の塗装を基本として製作されています。現場での製品切断は、切断部の製品性能が低下することが予測されますのでご注意ください。
- エンドキャップ(小口フタ)は同色の特殊極厚吹きを施した物をご用意しています。
- 塗装面の補修についてはタッチアップ用塗料をご用意しています。
- 特殊極厚吹きの特注色対応はいたしていません。7色の標準色よりご選択ください。

## light skin

- 主に低層用(設計風圧力2,000N/m以下)に設計されたルーバーです。
- ルーバーの固定ピッチは最大1,200mmです。
- ルーバーエンドキャップ(小口フタ)はご用意いたしていません。
- パネルユニット取付工法での取り扱いとなります。

## veronica

- フラットチャンネルはすべてのルーバーパネルを施工後にフラットチャンネルカバーを取り付けます。ルーバーパネル施工後も裏面に作業スペースがある納まりで採用をご検討ください。

## A-line

- 工場組立のため納入後の角度変更はできません。
- 縦貼りには対応していません。

## C-line®

- 本製品はパネル取付方法が嵌固定方式のため、急な温度上昇や昼夜の温度差により素材の熱伸びの影響を受け、嵌合部よりパチンというような“金属音”が発生することがあります。パネルを連続して取り付ける場合は、施工地域や施工部位によって発音する可能性があるため、一面の長さが40m以上の場合10m〜20mごとに10mmの目地を入れていただくことをおすすめいたします。
- コーナーパネルは端部が鋭くっておりますので、低層階(手がかり部)にご使用の際はご注意ください。

## AW.LiNE

- DL-3075P 開口率の表記57%は、正面方向からの開口率です(ルーバー見付面φ6×2列のみを含む)。ルーバー単体の断面周囲長でのパンチング開口率は39%です。
- 本製品はプレコートコイル製作品のため、裏面はアルミ素地色(コート5μm)です。また、プレコート材から加工しておりますので、折部表面に薄くラインが入る場合がございます。何卒ご了承ください。
- ルーバーの固定ピッチ(網織ピッチ)は、最大2,000mmです。コーナー部分などの角度切断は、出・入隅ともに30°以下は製作できません。
- ルーバー小口部分にパンチング孔が半切となる場合がございます。鋭利になりますので、梱包開封時や人の手に触れやすい位置でのご使用には、十分ご注意ください。
- 製品の特性上、ルーバー本体に強い衝撃を受けますと変形の恐れがございます。運搬や取り扱いに十分ご注意ください。

## 有孔折板 AW

- ステンレス製パネルは扱っておりません。
- 有孔折板の素材は高耐食溶融亜鉛めっき鋼板です。そのため、切断加工部に鉄素地が露出し赤錆が発生しますが、めっき層から溶け出したMgを含む緻密な亜鉛系保護被膜が端面部を覆うことにより、すぐれた耐食性を発揮し赤錆の進行は防止されます。
- 有孔折板AWは高耐食溶融めっき鋼板の加工品ですが、塩害環境地域での使用には制限を設けています。

### 【使用制限】

材質	種類	使用制限
めっき	(開口率33%) US33 UW33 USD33-175 USD33-200	海岸より2.5km以上離れていること
	その他	海岸より500m以上離れていること

## ライシェル

- 縦貼りには対応していません。
- 許容設計風圧力は2,000(N/m<sup>2</sup>)以下となります。